

# JPDA 9 月定例理事会議事録

日 時：平成29年9月13日（水）午後1時30分～午後5時

場 所：文京シビックセンター(区民会議室) 5階 会議室 A

東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園」駅前

出席者：理事24名中22名（加藤芳夫、伊藤 透、青木(入江)あずさ、井上 聡、  
牛島志津子、畝野裕司、梅原 真、江藤正典、小川裕子、小川 亮、  
加藤(桑)和美、加藤憲司、小原 司、佐野暁子(文胡)、竹内清高、中越 出、  
永島 学、永田麻美、中森恭平、藤田 隆、森 孝幹、山崎 茂)  
欠席届（信藤洋二、八木勇達）  
監事2名中2名（池田 毅、時田秀久）

議事の経過：

定款第31条(議長)により加藤理事長を議長に選出し、議長は直ちに本日理事会出席者24名を確認、定款第32条(決議)による出席者が過半数に達していることを確認し、定款第34条により議事録署名人が加藤芳夫理事長、伊藤透副理事長、池田毅監事、時田秀久監事の4氏であることを確認し、議事に入る。（決裁事項の議案号数は**ゴシック**。）

## 第1号議案 新入会員入会審査の件

本日の理事会までに入会申込み法人2社、個人4人があり、定款6条(会員資格の取得)並びに会員規定に基づき入会審査を行い、下記の法人2社、個人4人の入会を承認した。

### (1)法人会員（2社）

<東日本>

株式会社ホクストンデザインオフィス（推薦=時田秀久）

<中日本>

栄光システム株式会社（推薦者=時田秀久）

### (2)個人会員（4名）

<東日本>

中村 知美（なかむら ともみ）（推薦者=時田秀久）

渡辺 倫子（わたなべ みちこ）（推薦者=柴田まりも）

稲垣 敦子（いながき あつこ）（推薦者=花岡 学）

<中日本>

井上 和真（いのうえ かずま）（推薦者=時田秀久）

## 第2号議案 休会承認の件

本日の理事会までに休会届を提出した個人会員1人の休会を承認した。

### (1)個人会員（1人）

<東日本>

村木 貴久子（むらき きくこ）（産休・育休期間のため）

[29年9月から30年8月希望]

## 第3号議案 退会承認の件

本日の理事会までに退会届を提出した個人会員2人の退会を承認した。

<東日本>

橋本 文香（はしもと ふみか）（デザインの仕事から離れたため）

[29年8月末退会希望]

<中日本>

桜井 淳（さくらい じゅん）（一身上の都合により）

[29年8月末退会希望]

## 第4号議案 協会名義使用承認の件

・渡邊事務局長より下記の8件については、これまでに協会名義使用承認実績があることから、既に回答済みであることが案内された。

### (1) 後援名義の使用依頼 4件

・「学生照明展2018」（主催：学生照明展実行委員会）

・「第30回公募 2018日本ジュエリー展」

（主催：公益社団法人日本ジュエリーデザイナー協会）

・「おいしい東北パッケージデザイン展2017」（主催：東北経済産業局）

・「IIFT/インテリア ライフスタイル リビング」

（主催：メサゴ・メッセフランクフルト株式会社）

### (2) 協賛名義の使用依頼 2件

・「第28回 西日本食品産業創造展 '18」（主催：日刊工業新聞社西部本社）

・「TOKYO PACK 2018-2018 東京国際包装展」（主催：公益社団法人日本包装技術協会）

### (3) 共催名義の使用依頼 2件

・展覧会「現代日本のパッケージ2017」（主催：凸版印刷株式会社 印刷博物館）

・「富山デザインフェア2017」（主催：富山デザインフェア実行委員会）

## 第5号議案 正副理事長報告について

加藤理事長、伊藤副理事長から下記の報告があった。

冒頭、加藤理事長からは、「今年はJPD Aに大きな貢献をされた個人会員ご自身のご不幸が続いている。8月に(株)ニックインターナショナルの山口氏が事故で、また先週はデザイン界の重鎮だった鹿目氏のご病気でお亡くなりになった。昨日の鹿目氏の展覧会場で当初から予定されていたパーティには、多くの来場者があり盛大なパーティだったが、鹿目氏は、パッケージデザインにも、諸事情にしばられない、『アート』が必要なのではないかとおっしゃっているのではないかと思う。展覧会でもそれを語っているような作品が見られたと思う。」という発言があった。

伊藤副理事長からも、今回の鹿目氏の展覧会では、以前栃木県茂木で1日だけ行われた展覧会で出品された印象的な作品も展示されており、是非立ち寄ってほしい旨の補足があった。

加藤理事長報告 ・7/12 国内交流委員会に出席<アスパック>

(伊藤副理事長、渡邊事務局長同席)

・7/25 展覧会委員会に出席<アスパック> (渡邊事務局長同席)

・8/1 D-8運営会議に出席 (伊藤副理事長、渡邊事務局長同席)

・8/9 教育委員会に出席<アスパック> (渡邊事務局長同席)

・8/22 「おいしい東北」の審査会打ち合わせに出席

・8/23 アスパック国内事業のキックオフミーティングに出席

(伊藤副理事長、渡邊事務局長同席)

・9/14~15 しまんとデザイン会議の事前現地視察予定

・9/22 印刷博物館「現代日本のパッケージ2017」レセプションに出席  
予定

伊藤副理事長報告 ・7/12 国内交流委員会に出席<アスパック>

・7/25 JIDA「中国DIAシンポジウム」に出席

⇒伊藤副理事長より、盛大なシンポジウムで入賞の賞金もかなり高く、中国パワーを痛感させられたとのコメントあり。

・8/23 アスパック国内事業のキックオフミーティングに出席

・8/24 コンペティション委員会に出席<アスパック>

・8/30 日本包装技術協会「2017日本パッケージングコンテスト」  
表彰式に出席

・9/21 東日本トークカフェに出席予定 (担当理事)

・9/22 印刷博物館「現代日本のパッケージ2017」レセプションに出席  
予定

第6号議案 平成30・31年度役員選挙に関する「選挙管理委員会設置」及び「選挙管理  
委員選任」承認の件

小川（亮）総務担当理事から資料に沿って提案があり、「選挙管理委員会設置」及び「選挙  
管理委員選任」に関しては、原案通り承認された。

選挙管理委員5名は下記のとおりである。

- ・選挙管理委員 委員長：大澤 靖氏（東日本個人会員）  
委 員：時田秀久氏（東日本個人会員）、松浦真二氏（東日本個人会員）  
津乗康祐氏（西日本法人会員）、伊藤雅文氏（中日本法人会員）

渡邊事務局長より、役員選挙に関しては、10月の会員への告知から始まり、立候補・推薦  
の受付、被選挙人名簿・被推薦人名簿と投票用紙の送付、投票用紙の回収・集計とかなり  
煩雑な業務となるという説明があったが、小川（亮）総務理事からは、現在の全て手作業  
というやり方を次回あたりからネットによる投票に変えていきたいが、これを実現するに  
は諸準備が必要となるので、あらためて提案したいという趣旨の発言があった。

第7号議案 委員会報告について

<承認事項>

○西日本（勉強会 かたらうVo.1）

井上理事から、西日本勉強会 かたらうVo.1「食卓を彩る北欧のパッケージデザイン」と  
西日本総会報告会についての収支報告があり、

公益会計は、収入合計39,000円、協会補助125,000円、支出合計141,065円、

収支差額22,935円を承認した。また、法人会計は収入合計108,500円、協会補助0円、

支出合計108,500円、収支差額±0を承認した。

開催日時：2017年6月23日（金）

開催場所：メビック扇町

出席者数：52名（会員47名、一般5名）

西日本の今年のテーマは「かたらう」で、「かたらう」ことで絆を深め信頼や思いやりの  
心が生まれるきっかけになればという思いでテーマに選んだとのこと。

今回の講師加藤真弘氏は御殿場テトラパック合弁会社に勤めているものの、筋金入りの  
北欧パッケージマニアであり、日本と北欧のパッケージを比較しながら、日本では購入時  
の「売場での訴求力が強いこと」がポイントになっている一方、北欧では「持っ  
ても楽しい、食卓を彩る」ものになっているという分析をされていた。参加者との「かたらい」  
も交えて誰もが暖かい気持ちになれた勉強会であった。

通常総会の報告会は渡邊事務局長より28年度の決算報告が、各担当から委員会の今年度  
の計画が報告され、今年度の初めての事業は無事終了した。

## ○出版

山崎理事から、「年鑑2017発刊記念イベントin代官山蔦屋」についての収支報告があった。公益会計で、収入合計0円、協会補助金165,000円、支出合計353,279円、収支差額-188,279円を承認した。

収支差額が大きくマイナスになったのは、計画にはなかった制作費が必要になったこと、会場装飾費が計画を大きく上回ったことが主な原因だが、前回（2015年）実施したときは年鑑の制作全般を担当している六耀社からのバックアップがあったことも要因の一つになっている。

トークショーも含めて展示全般についての評価は高いものであった。期間中年鑑は20冊販売できたが、代官山という場所柄、デザイン関係の人ばかりではなく、一般の方の来場が多かったことから、展示された食品関係の入賞作品（ういろう、カステラ）も思った以上の売上があり、いままでの展示会とはひと味違ったものだったとのこと。

## <報告事項>

### ○西日本

資料（案内チラシ）に基づき、井上理事より、9月8日に京都で実施した勉強会「かたらう式」について以下の報告があった。

「参加者は会員30名、一般3名の33名だったが、貼り箱を作るワークショップの後で、講師をお願いした大西景子女史からの話をいただき、大変充実した勉強会だったと思う。大西女史は京都の和菓子屋の出身であるが、二子玉川で「箱」を商品として販売する店を開いており、東日本でも同様のワークショップ等をすることはできると思う。また、女史の弟さん（和菓子屋の次期社長になると思われる）からJPDAに入会したいという話もいただいている。」

引き続き、資料に基づき、11月のしまんとデザイン会議についての進捗報告があった。

「現在、参加者は取材・事務局を含めて127名となっている。心配していたホテルのシングルユースの件はツインでも構わないという方々のご協力により解決している。一方、東京方面からの参加者が往きのフライトをとるのが難しいと聞いているので、どの程度の方が、当日の到着が可能なのかを精査して対応を考えたい。」

理事会に出席している役員の方々でも、当初予定のフライトを予約できたのはわずかであり、前泊、夜行バス、松山空港からレンタカー、家から自家用車等、多くの方がご苦労されているのは事実である。

井上理事から、空港に2台手配しているバスを1台高知市内に行かせることも考えたいとの発言があったが、梅原理事からは、四万十までのバスの経路から考えると高知市内からは

不利なので、当初予定のフライトが取れなかった方も市内から高知空港に来ていただく方が得策との反論があった。

#### ○東日本

資料に基づき、竹内理事より、来週9月21日（木）にアーツ千代田3331で行われる「トークカフェ」の案内があった。

「定員80名に対して現在78名と後一步のところまで来ている。今回は若手にスポットを当て、かれらが何を考え、悩み、どのような未来を思い描いているのかを語り合ってもらおうと考えている。」

#### ○調査研究

資料に基づき、加藤理事より、10月25日に京橋の東洋インキ(株)大会議室で予定しているトレンド研究会「暮らしになじむロハコのパッケージデザイン」について以下の案内があった。

「法人会員を増やすことを目的に、今年の3月に実施したアンケートで、法人会員はパッケージのトレンド情報に対する要望が多かったことから、今回は着実に市場規模を拡大しているインターネット通販の中で、最近話題になっているアスクルが展開する「ロハコ」のパッケージデザインを取り上げることにした。

内容としては、①ロハコの取り組み（パッケージデザインの決め方等）、具体的な例としての、②花王リセッシュのパッケージ、③キリンmoogyのパッケージという3本の講演会と、その後のパネルディスカッションという構成で考えている」。

- ・加藤（桑）理事からは、東洋インキは大変好意的で、新しくオープンする会議室（定員）を使わせていただけることになっている。29階で眺めもよく素晴らしいスペースなので、是非参加いただきたいという補足があった。

#### ○コンペティション

資料に基づき、小原理事より、次回のコンペティション「日本パッケージデザイン大賞2019年」の進め方について以下の報告があった。

「一次・二次の審査会は2018年8月27日（月）・29日（水）、場所は昨年同様の東京都立産業貿易センター台東館を予定している。審査員数、選定方法等具体的な内容は検討中で10月に決定したいと考えている。それ以外の課題としては、カテゴリーの再検討、前回間違いが散見された受賞者リストの管理方法があり今後議論していきたい。

前回からの改善点としては、短すぎた作品エントリー期間を以前の「1ヶ月間」に戻すことが上げられる。」

他の理事からの意見：

- ・小川（裕）理事：「前回カテゴリーが増えたこともあり。後半になればなるほど（二次審査）審査時間が短くなっていくように感じた。もっと医薬品にも時間をかけた方が

よかったのではないか」

- ・加藤（桑）理事：「前回カテゴリーによってセルフと対面販売の二つに分けたが、通販というカテゴリーは考えないのか。」
- ・江藤理事：「編集方針をはっきりさせて、その方向で決めていけばよいのではないか。皆さんの意見を聞いているとわけがわからなくなると思う。」

伊藤副理事長：「編集方針を議論する前に、コンペティションの目的についてももう一度考える必要があるのではないか。入賞作品を集めて本にして、皆さんに興味を持っていただくことなのか（昨今はあまり売れないのだが・・・）、あるいは出品作品が入賞し、表彰されることにより、出品者のモチベーションを上げることなのか？それによっていろいろな要素が異なってくるのではないか。」

- ・加藤理事長：「賞の数が増えたのだが、今後は会員のメリットも考慮した『JPDA会員賞』のようなものも考えてほしい。」

これに対し、小原理事から、いただいた意見は今後の検討課題としていきたいとの発言があった。

#### ○デザイン保護

資料に基づき、小川（亮）理事より、以下の報告があった。

- ・「9月7日よりHPにVol. 94『J-PlatPat検索の手引き（その1）基本』をオープンした。これはデザイン保護委員の山本氏（弁理士）にまとめていただいたもので、パッケージデザインに関わる人が非常にわかりやすいような内容になっている。お時間のあるときに是非覗いてみていただきたい。」

#### ○出版

資料に基づき、山崎理事より、以下の報告があった。

- ・「パッケージインデックス2018の掲載募集要項をこれまでの印刷物からWEB版に変更していきたい。いままでの紙ベースのものはわかりにくいところがあったが、WEB版にすることで、掲載申し込み～原稿入稿～校正までが一連の流れの中で可能になるので、応募者にとって大きなメリットになると考えている。この告知は、9月下旬からJPDA会員、対象となる非会員（過去に大賞コンペに入賞にされた方）に、「WEBサイト開設案内」を郵送することとしたい。

これについては時田監事、梅原理事からWEBによる募集に移行することにより、出版社（六耀社）の原価は下がるのかという質問があったが、その件に関しては、今後、出版委員会から六耀社に対し確認をとることとする。

#### ○国際交流

森理事より口頭で、次回の海外視察の候補先として考えているアジア2カ国（シンガポール、インドネシア）の事前視察についての報告があった。

いままでの海外視察の中でアジアはなかったと思うが、シンガポールはアジアのニューヨークと言われる程進んだ都市であり、インドネシア（ジャカルタ）は日本企業の進出も多く、スーパーで日本の製品がよく見られるようになってきていることに加え、デザインに関する関心も高いので、この2都市を視察することで、アジアと世界を知ることができるのではないだろうか。また欧米と比べて費用面、安全面でも有利であり、来年の視察に値する場所と考えている。（別紙報告書資料あり）

#### ○教育

永田理事より口頭で、スマイルズ様の件は参加者との合意書の内容が合意に至り、参加者の確認・捺印も終えたので、12月の施策に向けて打ち合わせがスタートしたとの報告があった。

#### ○アーカイブ

青木（入江）理事より口頭で、8月22日に、総務小川（亮）理事、渡邊事務局長とともに、アーカイブ資料館の候補であるアーツ千代田3331を視察・見学したという報告があった。これについては11月以降の理事会で費用試算を報告することとなった。

#### ○国内交流

加藤（桑）理事より口頭で、次年度以降のデザイン会議について、今回は2018年には実施せず、2019年1月の東日本の賀詞交歓会と同日に開催することを検討したいという提言があった。

デザイン会議のあり方については7月の理事会でも議論になったが、賀詞交歓会との同日開催は集客が期待できることから概ね好意的な意見が多く、この方向で検討していくことになった。

一方で、2020年の60周年イベントとの兼ね合いをよく考えてほしいという意見や、地方での開催は単なる持ち回りでは厳しいものの、初めからなしという前提ではなく、やる気がある提案があったときは考えるべきであるとの意見、また、東京でやるときに各地の特産品を持ち寄った展示会を考えても面白いのでは・・・などの意見があった。

具体的な内容はあらためて国内交流委員会から提案していただくこととする。

#### ○インターネット

資料に基づき、佐野理事より、前回の理事会で話があった東日本セミナーの動画配信を踏まえ、インターネット委員会の録画撮影及び配信テストについての報告があった。

撮影費用は都内で100名程度の会場を想定しており、内容に応じた概算32万円～11万円のA・B・Cの3コースを考えてみた。通常のセミナーでは費用的に難しいが、外部からの依頼も受ける新しい事業として考えてもよいのではないかとのこと。（詳細は資料参照）

#### ○中日本（北陸）

畝野理事より、富山デザインフェアのPRチラシを見ながら、デザインフェア全体の紹介、

及び同時期開催のJPDAトークカフェの案内があった。

#### ○アスパック全般（主にアスパックウィーク）

牛島理事、小川（裕）理事より、牛島理事制作の2017年のキービジュアル、ロゴ（いずれもアスパック協会、国際交流基金の承認済）について説明があった。

次に、渡邊事務局長より、資料（アスパックウィークの流れ）に基づき、12/2～12/6までの間、関係する国内交流委員会（12/3終日：フォーラム・表彰式・レセプション）、教育委員会（12/4・5：企業研修、講演会等）、展覧会委員会12/4～12/6（ワークショップ、入賞作品の展覧会開催）がそれぞれ検討している内容の概略についての報告があった。

現時点で決定しているのは、12/4の展覧会委員会がハンドリングするワークショップ、12/5午後の「原研哉氏の講演会（於：日本デザインセンター）」、12/6午後からの（株）ブラビス訪問・入賞者のお別れ会のみで、他に企業研修を予定していた（株）花王、（株）資生堂は先方の事情によりキャンセルとなった。

展覧会委員会から、当初12/6のテープカットから始まる展覧会については場所が未定だが、12/4の午後にワークショップで入賞作品の陳列・展示ができれば、12/5スタートも可能であるとの提案があり、アスパック協会の加藤事務局長の同意を得て、展覧会は12/5～10の開催の方向で検討することとなった。あわせて、12/6に予定していた展覧会でのテープカットは12/4のワークショップ終了後も含めて再検討となった。

教育委員会の永田理事から12/5の原研哉氏の講演会はアスパックアワードの入賞者だけではなく、JPDAの会員にも有料で案内したいので、フライヤー（案内チラシ）を作成したいとの要望が出たが、国内交流委員会の加藤（桑）理事から、できればアスパックウィーク全体を語る共通のフライヤーにしてはどうかとの提案もあり、継続検討することになった。

江藤理事より、今年のアスパックにエントリーした学校別リストの紹介があった。江藤理事からは、今年ワークショップを行わなかったにもかかわらず、多くのエントリーをいただいた北海道芸術デザイン専門学校については、次年度是非ワークショップを行いたいとの提言があった。

#### 第8号議案 事務局報告について

- ・渡邊事務局長より、下記の案内があった。
  - ・会員状況について（2件の訃報を含む）
  - ・2018年度の顕彰者（社）推薦の依頼について（各理事に関連書類を配布）
  - ・特許庁からの「事例で学ぶ 意匠制度活用ガイド」について
  - ・外部からの展覧会、セミナーの案内チラシについて
- ① 印刷博物館での「現代日本のパッケージ2017」

② (株).Tooからのセミナー「.Design Surf Seminar」

・宅配便ヤマトの10月以降の値上げについて（現在の約2倍の費用）

⇒郵便局のゆうパックも使ってみて、輸送上の問題やサービス面をヤマトと比較してから、今後の方向性を決めることとする。（次回理事会に報告）

第9号議案 次回理事会開催について

日時：平成29年11月8日（水） 午後1時30分～5時

場所：文京シビックセンター（区民会議室） 5階 会議室A